

かごしまずま・ずま・ネット

こんにちは！
このページは、かごしま市の各行政機関や民間企業、教育機関、市民団体等が連携して作成した「かごしまずま・ずま・ネット」のホームページです。

かごしまタイムマシーン
 1. 市民生活
 2. 観光
 3. 産業・経済
 4. 教育・文化

かごしまナビゲーター
 1. 市民生活
 2. 観光
 3. 産業・経済
 4. 教育・文化

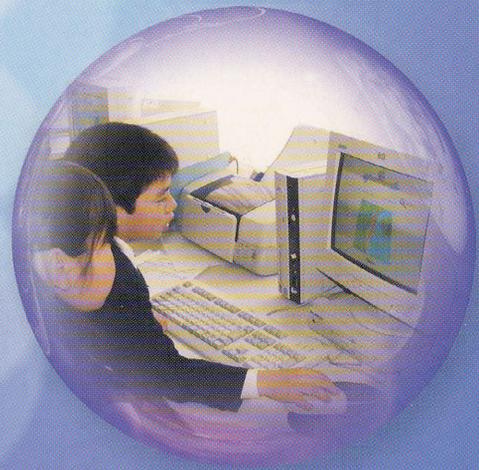
かごしまずま・ずま・ネット
 1. 市民生活
 2. 観光
 3. 産業・経済
 4. 教育・文化

かごしまずま・ずま・ネット
 1. 市民生活
 2. 観光
 3. 産業・経済
 4. 教育・文化



鹿児島市地域ITプラン21

概要版



鹿児島市

鹿嶋島市

人口: 854,106人 (平成15年5月1日現在)

まちづくり
 総合計画・まちづくり・まちづくり委員会・まちづくり推進委員会・まちづくり推進協議会・まちづくり推進協議会

暮らし
 子育て・高齢者・障害者・外国人・外国人労働者・外国人労働者・外国人労働者・外国人労働者

健康・福祉
 健康・福祉・健康・福祉・健康・福祉・健康・福祉・健康・福祉

環境・リサイクル
 環境・リサイクル・環境・リサイクル・環境・リサイクル・環境・リサイクル

教育・文化
 教育・文化・教育・文化・教育・文化・教育・文化

経済・産業
 経済・産業・経済・産業・経済・産業・経済・産業

市議会
 市議会・市議会・市議会・市議会

市立病院・市電・バス・水道・下水道
 市立病院・市電・バス・水道・下水道

行政一般
 行政一般・行政一般・行政一般・行政一般

鹿児島市



21世紀という新たな時代を迎えた今日、IT(情報通信技術)化の流れは、ますます大きな潮流として、社会経済環境のあらゆる面に影響を及ぼしています。

本市では、平成10年度に10か年計画として「鹿児島市地域情報化計画」を策定し、全庁的な体制のもと、展開方策の早期実現を目指し、積極的に推進してまいりました。

また、市民の利便性向上や行政事務の効率化を図るため、平成13年度からITを活用した電子市役所の構築にも取り組んでいるところであります。

一方、情報通信技術の進展や国の積極的なIT戦略の実施、あるいは情報化に対する市民ニーズの多様化など、地域情報化を取り巻く環境は刻々と変化してきていることから、このような情勢に的確かつ柔軟に対応していくことが求められています。

このようなことを踏まえ、「鹿児島市地域情報化計画」のさらなる推進を図ることを目的に、この度計画期間の後期(5年間)に取り組む新たなプロジェクトを加えた「地域ITプラン21」を策定いたしました。

このプランの推進に市民の皆様方と一緒に取り組む、個性あふれる情報資源都市・鹿児島の創造を目指してまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成15年4月

鹿児島市長 赤崎 義則

1998
平成10年度

鹿児島市地域情報化計画

2003
平成15年度

後期推進プロジェクト

2007
平成19年度

鹿児島市地域ITプラン21

プランの計画期間は、平成15年度(2003年度)から5か年とし、社会経済情勢の変化に柔軟に対応しながら取り組んでいきます。

Contents (目次)



地域情報化計画の達成状況と取り巻く環境の変化(P3~P4)

地域情報化計画の策定から5年を経過した現在、計画に基づく24の展開方策が実現し、市民生活の各面で着実に進展しています。

「いま、ITを活用して何ができるか？」
について説明します

ITプラン21の展開方策(P5~P6)

様々な分野においてITを活用するため、情報化により目指す方策を6つのビジョンに分けて整理し、28にのぼる具体的な展開方策を定め、取り組みます。

「具体的にはどのようなことをするのか？」
について説明します

ITプラン21が目指すこと(P7~P8)

展開方策の中から、重点的に取り組む方策を3つのプロジェクトとして抽出し、情報化を加速するけん引役として早急に取り組みます。

「これから、ITを活用して何ができるか？」
について説明します

情報化を進めるために (P9~P10)

地域情報化を円滑に推進するため、情報通信基盤の整備や情報格差への配慮、個人情報の保護などに取り組みます。

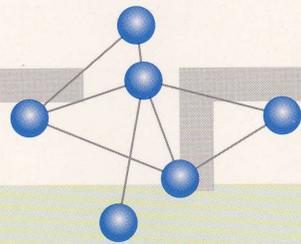
情報化を進める上で留意すること
についてQ&A方式で説明します

地域情報化計画の達成状況と
取り巻く環境の変化

ITプラン21の展開方策

ITプラン21が目指すこと

情報化を進めるために



「いま、ITを活用して何ができるか？」

※地域情報化計画で実現した主なもの

市のホームページを通じて

- ・イベント案内や各種講座などの最新の情報収集
- ・各種申請書のダウンロード
- ・大雨や台風など災害時の情報収集
- ・観光情報の収集
- ・歴史や文化資産の情報収集
- ・ボランティア活動に関する情報収集
- ・市の条例規則や市議会会議録の検索などができるようになりました!



小・中学校では、コンピュータ教室にある教育用コンピュータや学習用コンテンツを活用した学習ができるようになりました!

また、サンエールかごしまなどで開催される講座を通じてITを学べるようになり、この講座を通じて情報ボランティアの方々が活動されています。



生涯学習情報システム(キョウトピア・ネット)により、インターネット上で各種講座の申し込みや施設予約ができるようになりました!



情報関連産業の育成支援拠点施設「ソフトプラザかごしま」において、IT関連の企業が活発に活動しています。

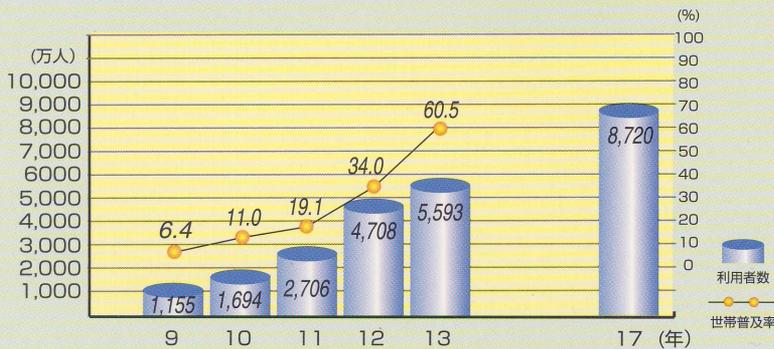
また、商店街のホームページ作成など中小企業の情報化も進んでいます。



情報通信技術の進展と利用拡大

ADSLや光ファイバーなど高速・超高速のインターネット通信網の整備が進んできています。このことにより、インターネットの利用方法が「情報の検索」や「電子メール」「オンラインショッピング」などに加えて「音楽や映画などをダウンロードして楽しむ」ことなどに広がってきています。

また、インターネットを利用する方々も急激に増えてきています。



インターネット利用人口の推移(総務省 平成14年版情報通信白書より)

国や県の積極的なIT施策の実施

国や県では電子政府・自治体の実現や高速インターネット回線の整備・人材育成などを強力に進めています。

国：「e-japan」戦略
 ※わが国が5年以内に世界最先端のIT国家になることを目標としています
 県：「かごしま情報フロンティア21構想」

情報化に対する市民ニーズの多様化

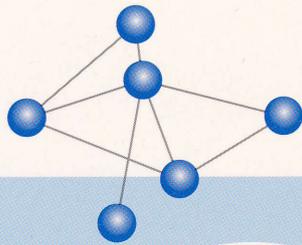
- 市民アンケートを行い、
- ・情報関連機器の所有率やインターネット利用率の増加
 - ・IT機器の利用方法や利用目的などの多様化
 - ・情報化の進展に伴う様々な不安などのデータをまとめました。



地域の情報化を取り巻く環境の変化

地域情報化計画の達成状況と取り巻く環境の変化





地域ITプラン21の展開方策

ビジョン1 健やかに暮らせる都市

例えば、休日や深夜に具合が悪くなった時の対処法や夜間・休日に診療が可能な医療機関の情報、あるいは自分の住んでいる地域での健康診断の開催日程、災害発生時の対応など市民の皆さんからニーズの高い情報の提供やITを活用した医療・保健・福祉・救急の各分野の連携を図り、疾病の予防・早期発見・相談などへの取り組みを進めていきます。また、高齢者や障害者の方々のITを活用した積極的な社会参加を支援し、健やかに暮らせる都市を目指します。

ビジョン2 安全で安心して暮らせる都市

災害などに関する情報は即時性や確実性が求められます。そのため、インターネットを活用して災害時や災害後の情報をリアルタイムで入手できることは、安心して暮らすための一つの方法と言えます。

市では、地域情報化計画の中で防災に関する情報システムを構築しましたが、今後、他の情報提供機関や市役所内の関係課との連携を深め、より使いやすく、また携帯電話などにも対応した情報提供に取り組み、安全で安心して暮らせる都市を目指します。

ビジョン3 便利で快適な市民生活がおくれる都市

例えば、住民票をとるためにバスに乗り、市役所まで出かけると、混雑する時期には午前中や午後の時間帯をほとんど使ってしまう場合があります。また、引越しの際には、住民票の届出以外にも健康保険や国民年金の届出等が必要となる場合もあります。

市では、ITを活用し、24時間、いつでも申請や届出をすることができるよう取り組み、窓口ではきめ細やかで専門的な相談を受けることができるよう、市が提供する行政サービスの質的な向上を図ります。

このように市民の皆さんが普段、市役所で行う手続きを電子化することや行政内部の事務の電子化など、電子市役所(便利ネット、かごしま市)の構築に取り組み、便利で快適な市民生活がおくれる都市を目指します。

分野

医療・保健・福祉・救急

方策1

健康や福祉に関する情報提供ポータルサイトの構築

方策2

医療・保健・福祉・救急分野の連携

方策3

高齢者・障害者の積極的な社会参加とその支援

分野

防災、環境

方策4

防災情報システムの充実

方策5

環境に関する情報システム

分野

電子市役所の構築

方策6

申請・届出等手続きのオンライン化

方策7

文書管理システム

方策8

電子調達システム

方策9

住民票等手続きのネットワーク化やICカードの活用

方策10

統合型地理情報システム

方策11

行政評価システム

方策12

ホームページの充実と積極的な活用



ビジョン4 豊かな心と個性をはぐくむ都市

市では、多くの市民の皆さんがITの恩恵を受けることができるよう、皆さんのITの習得段階に応じた活用能力(情報リテラシー)の向上に努めるとともに、小・中・高等学校におけるITを学習する環境の整備に取り組み、次の世代を担う子どもたちが情報を主体的に活用できるようにするなど、豊かな心と個性をはぐくむ都市を目指します。

ビジョン5 多彩な交流が拡がり、活力あふれる都市

ITを活用した交流を進めるため、情報関連産業の育成支援に努めるとともに、地元企業の情報化や電子商取引の促進などにより、地域産業の創造性を高めます。また、ITを活用し市の有する資源を広く情報発信・情報交流することや観光客の誘致・イベントの開催などにより幅広い交流が生まれるための取り組みを行い、多彩な交流が拡がり、活力あふれる都市を目指します。

ビジョン6 市民がまちづくりへ 自発的に参画する都市

市民の皆さんがご自身の都合や要望にあわせて、今までのまちづくりへの参加方法以外に、ITを活用し気軽に参加できる環境を整備するなどの取り組みを進め、市民がまちづくりへ自発的に参画する都市を目指します。

分野

学校教育、生涯学習、歴史・文化

- 方策13 学校における情報教育の充実
- 方策14 生涯学習へのITの活用とその支援
- 方策15 図書館情報システムの充実
- 方策16 歴史・文化資産のデジタル化の推進

分野

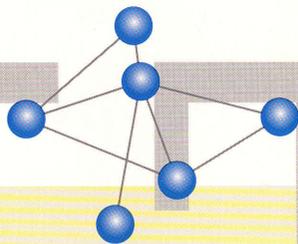
産業、交流 観光・イベント・コンベンション

- 方策17 地域産業の情報化の促進
- 方策18 情報関連産業の育成支援
- 方策19 SOHO事業者の育成支援
- 方策20 ITを活用したきめ細かな観光情報提供サービスの充実
- 方策21 「かごしまITウィーク(仮称)」の開催
- 方策22 ITを活用した情報発信・交流の促進
- 方策23 無線LANシステムを活用した交流スペース設置の支援
- 方策24 交通カードシステムの導入
- 方策25 国際交流・地域間交流促進のためのインターネット活用

- 方策26 インターネットによる市民コミュニティの形成

- 方策27 ITを活用したパブリックコメントの実施

- 方策28 男女共同参画活動支援ネットワークの形成



重点的に取り組む3つのプロジェクト

地域ITプラン21の実現にあたって、5～6Pの展開方策の中から、市として重点的に取り組む方策を抽出し、情報化を加速するけん引役として早急に取り組んでいきます。

1

ITだれでも向上プロジェクト

IT化に取り組む意向を持つ市民の皆さん“だれでも”がインターネットに親しむことができることを目指します!

- ◆IT機器操作の習得段階に応じた対応(方策3・13・14)
- ◆情報ボランティアの活用(方策14)
- ◆ITに関するイベントの開催(方策21)
- ◆ITを活用した事業化に対する支援(方策19)

2

ITいつでも・どこでも活用プロジェクト

ITを“いつでも・どこでも”活用できる体制や環境を整備し、市民の目に見える便利さを実現することを目指します!

- ◆市民総合交流ネットの構築(方策1・12・26・27)
- ◆電子市役所の構築(方策6～9)



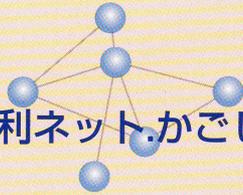
3

ITにぎわい創出プロジェクト

情報化を進めることによって、市内にITを活用した「元気のある企業」あるいは、「やる気のある企業」が数多く生まれ、“にぎわい”を創出し、活力あふれるまちになることを目指します!

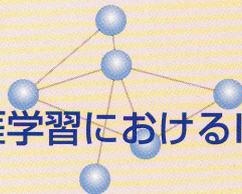
- ◆地域産業の情報化支援(方策17)
- ◆情報関連産業、SOHO事業者の育成支援(方策18・19)
- ◆ITを活用したインターネット上のにぎわいの創出(方策22)
(地域情報の総合ポータルサイトの構築)

電子市役所(便利ネットかごしま市)の実現



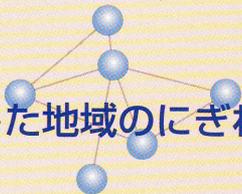
- 申請書・届出等手続きが24時間、どこからでもできるようにになります(平成16年度～)
- 住民基本台帳カードを活用した各種サービスの提供について検討を進めます(平成16年度～)
- 入札・契約に関わる手続きがインターネットを通じてできるようになります(平成17年度以降)
- 地域の地図情報をインターネット上で活用できるようにになります(平成17年度以降)

学校や生涯学習におけるITの活用



- 小中学校の普通教室にパソコンを整備し、インターネットなどに親しめるようになります(平成15年度～)
- 体系化されたIT講習の受講や情報ボランティアとしての様々な活動ができるようになります(平成15年度～)
- 図書館の蔵書がインターネット上で検索・予約できるようにになります(平成15年度～)

ITを活用した地域のにぎわいづくり

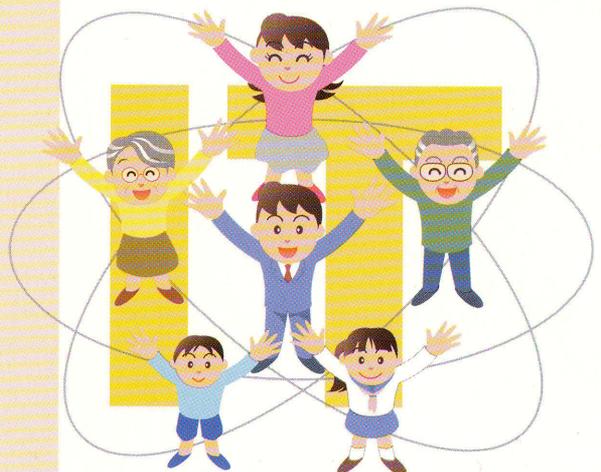


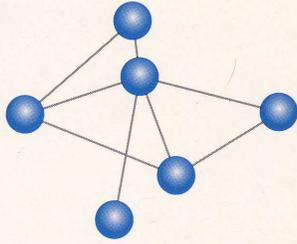
- 地元企業の情報化をさらに促進します(平成15年度～)
- ITを活用したSOHO事業者の育成支援を図ります(平成15年度～)
- 官民の枠を超えた、鹿児島の魅力あふれる地域情報を発信する総合的な情報提供窓口をつくります(平成16年度以降)



「これから、ITを活用して何が出来るか?」

※これから目指す主なこと





情報化を進めるために

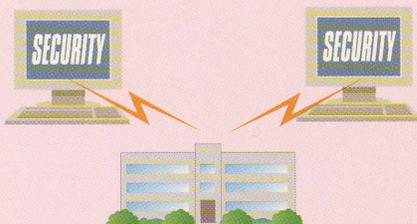
パソコンなどを操作できないと
取り残されるのではないかな?



光ファイバーなどを自宅で気軽に
使えるように、情報通信基盤の整備
が必要ではないかな?



市のコンピュータの中には
市民の大切な情報が入っています。
ネットワーク社会の中で個人情報を
どのように守っていくのかな?



パソコンを活用できる度合いや触れる機会が少ないことなどによる情報格差(デジタルディバイド)が生じることがないように、

- 体系化されたIT講座の開催
 - 情報ボランティアの活用
 - 窓口での変わらない行政サービスの提供
 - インターネットに接続されたパソコンに触れる場の拡充
- などに取り組みます。

情報通信基盤の整備については、市民の皆さんや企業の方々が高速かつ大容量の回線を低廉な使用料で利用できることが最も重要です。

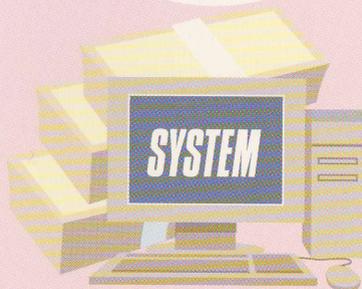
そのため、地域内における情報化の積極的な推進・需要創出による民間事業者の整備促進、市の有する電子データ等の情報量の増大に伴う行政ネットワーク通信網の高速化、市民の皆さん・企業・大学・市役所が連携したネットワークの形成、ブロードバンド化に対応した魅力あるコンテンツづくりなどに努めます。

市役所の電算システムの中には、住民記録・税・福祉など市民の皆さんの大切な情報や財務などの情報があります。

そのため、市では個人情報の保護を図るため「電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例」を制定し、情報を管理している課のデータに対する他の課からのアクセスには厳重に制限をかけています。また、市の情報資産を内外のあらゆる脅威から守ることを規定した「情報セキュリティポリシー」を策定しています。

情報化社会が進展する中、データの破壊や流出などの危険性について常に認識しつつ、情報資産を守るための最新技術の導入と情報資産を守る高い意識で個人情報の保護に取り組みます。

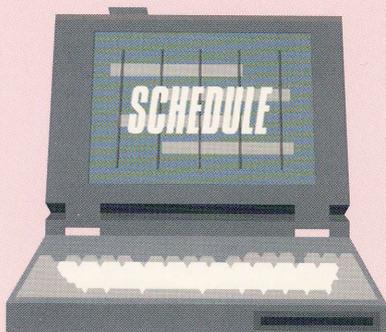
展開方策にあるシステムをどんどんつくと開発や運営に多大なコストがかかるのではないかな?



市町村合併への対応はどのようにするのか?



計画をつくっても、キチンと実行されなければ無駄なことではないかな?



方策の実現にあたっては、利用する市民の皆さんの立場からその必要性や効果を検討し、最小限のコストで最大の行政サービス「ローコスト・ハイサービス」が可能なものについて進めていきます。

さらに、データが既に構築されているシステムと重複する場合や行政サービスの向上に大きな効果が見込めないシステムなどについては、常に見直しを行い、システムの統廃合などについても検討を行います。

市町村合併への取り組みとしては、

- 地域情報化の推進
 - 情報通信基盤の整備
 - 電算システムの円滑な統一
- などが必要となります。

また、合併する市町村だけではなく、県や隣接する自治体などとの連携も図りながら取り組んでいきます。

地域情報化を着実に進めるためには、市民の皆さん・企業の方々・大学・市役所が参加し、相互に連携してその推進体制と進捗状況のチェック体制を確立することが重要です。

そのため、「市民の 市民による 市民のための情報化」となるよう、それぞれの方策に取り組む際は、市民の皆さんの意見を十分に反映できる体制を整備します。

主な用語の解説

| | |
|-----------|--|
| ADSL | AsymmetricDigitalSubscriberLine(非対称型デジタル加入者線)の略。電話用のメタリックケーブルにモデム等を設置することにより、高速のデジタルデータ伝送が可能となる |
| IT | InformationTechnologyの略で、直接的には「情報通信技術」のことを言う。しかしながら、定義はあいまいでコンピュータ機器やソフトウェア・情報通信技術に関わる設備、使用方法なども含む |
| SOHO事業者 | 企業に属さない個人起業家や自営業者等が情報通信ネットワークや情報通信機器を活用し、自宅や小規模な事務所で仕事をする独立自営型のワークスタイル |
| 情報リテラシー | 情報通信機器の操作や情報に関する知識、倫理など情報化社会に対応するための基礎的な能力のこと |
| ダウンロード | ネットワーク上の他のコンピュータにあるデータ等を、自分のコンピュータへ転送し、自分のコンピュータに保存すること |
| パブリックコメント | 行政機関が政策の立案等を行おうとする際にその案を公表し、この案に対して広く皆さんから意見や情報を提出していただき、行政機関は最終的な意思決定を行うというもの |
| 光ファイバー | 光通信においてデータを伝送するケーブルのこと。今までの電話回線などでは電気をういてデータを伝送していたが、光を用いることによって通信速度が速くなる |
| ポータルサイト | 情報の検索、ニュース速報、オンラインショッピング等インターネット上の様々な情報が集約されたサイト |
| 無線LAN | 無線を使って構築されるネットワークのこと。この活用により、パソコンなど情報機器を持ち運びしながらインターネットへのアクセスが可能となる |

鹿児島市地域ITプラン21の本文は、鹿児島市ホームページに掲載しています

ホームページのアドレス

<http://www.city.kagoshima.kagoshima.jp>

お問い合わせは、鹿児島市企画部情報政策課まで

電話 099-216-1115

E-mail jousei@city.kagoshima.kagoshima.jp